

2015年 8月29-30日 技工部第五課 森山  
**日本補綴構造設計士協会 創立20周年記念学術大会**

超高齢化社会を迎え、ますますデンチャーを使用する人が増えてきており、今後の自分の仕事の参考にすべく、日本補綴構造設計士協会(PSD)主催の当学術大会に参加いたしました。

これからは、一人の患者様を診るために、歯科医師、衛生士、技工士の三者がお互いの垣根をとっばらい、意見交換が出来るような関係が望ましいとのことでした。技工士はまず歯科医師に選ばれる事を目標とし、緊張感を持って仕事に取り組むことが重要で、それには自分の仕事を、いかに魅力的に相手に伝えるかが重要だということです。

講演の中では、実際に完成したデンチャーを装着した患者様がその場で歯科医師の作ったお弁当を食べる、といった映像が流されました。患者様は嬉しそうに食事をとり、最後には違和感なくスムーズな発音で「ありがとう」と笑顔を浮かべていました。映像を見て、私たちの仕事は、患者様の笑顔を取り戻し生き甲斐を支える仕事だと、改めて実感いたしました。

これからの時代、ますますデンチャーの患者様が増えてくる中で、デンチャー、クラウン、ブリッジなどを同時に製作する患者様も増えてくるでしょう。そうなりますと、義歯担当、クラウン・ブリッジ担当がお互いに情報を共有して、勉強していく必要があると思います。



2015年 9月12日 所長 尾林  
**日本デンタル歯科学会 研究発表会「デジタル歯科医療機器最前線」**

昨今、著しく成長・発展しているCAD/CAMの分野で、次期に来るであろうデンチャーのCAD/CAMについて講演があるとのこと、当研究発表会を受講しました。

現在、CAD/CAMのデンチャーワークは、インプラントオーバーデンチャーによるPIB(プロセラインプラントブリッジ)やパーアタッチメントで活用されています。また最近では、クラスプ、金属床を用いたメタルワークも可能になりました。その一方、レジンワークでの軟らかい組織の粘膜スキャンが困難な点、ピンクの義歯床と白い義歯の色別方法の見直しなど、多くの課題を抱えています。既にDENTCAシステムなどデジタルテクノロジーを用いて全部床義歯を製作するシステムもあり、無歯顎補綴の需要が増加するであろう近い未来に向けて、より優れたCAD/CAMによる臨床技術が必要とされるでしょう。

また、デジタル化が進む歯科業界で、歯科医師が日頃使用している道具にひと工夫したり、より正確な診療ができるような道具を作る研究発表があり、アナログ的な道具も工夫次第で仕事の効率や精度を上げることが出来るとのことでした。

日々、めまぐるしい発展を続ける歯科業界ですが、新しいもの、既存のもの、あらゆる部分にアンテナを張って、その時代・ニーズに合った技術や対応策を見いだすことが大切だと感じました。



2015年 9月13日 働エムエスシー 技工部 飯野  
**マスターセラミストスクール「インプラント技工と経営を学ぶ。」**

今回、弊社とグループ関係にある、マスターセラミストスクール(MCS)のインプラントコースに参加させていただき、全過程を修了しました。このコースでは、インプラント技工のスペシャリストである伊藤彰英先生のもと、4月から9月の半年間で月2回ずつ、計12回の講義を通して、一からインプラント技工を習得することができます。

これまで、インプラント技工はほぼ未経験の私でしたが、講義のはじめに専門用語に関する詳しい説明もあり、つまづくことなく理解を深めることができました。また、インプラントの歴史や伊藤先生の経営論など、同席されたインプラント経験者や経営者でも思わず唸るほどの技術や情報も学ぶことができました。

インプラントコースを修了して、学ぶことの大切さを再認識させられました。日々の仕事の中で、向上心を持って積極的に取り組む姿勢を忘れずに、新しいことにも挑戦していきたいと思います。



発行元：株式会社 足利セラミックラボラトリー 編集：宗村裕之/宗村政明/遠藤隆雄/山口勇人 レイアウトデザイン：サービス事業部 高橋

本社 〒373-0015 群馬県太田市東新町 672 TEL:0276-20-5670 FAX:0276-20-5671  
東京支社 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-8-1 寿山堂ビル 5F TEL:03-3811-0241 FAX:03-3811-0240  
ハワイ支社 Pan Am Building ,Suite 1227 1600 Kapiolani Boulevard Honolulu, HI 96814 TEL/FAX:(808)947-2128  
仙台営業所 〒981-3222 宮城県仙台市泉区住吉台東 3-10-7 TEL:0120-1-372-18 いつも みんなに いい歯  
マスターセラミストスクール 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-8-1 寿山堂ビル 5F TEL:03-3811-0223 FAX:03-3811-0240

2015年 9月27-28日 技工部第五課 石川  
**ロッキーマウンテンモリタ CAシステムセミナー**

今回、二日間にわたり、CAシステムのセミナーを受講してきました。

まず一日目はエチャリ先生によるCAシステムの定義、適応症、治療計画などのCAシステムの概要を主に聴きました。ピグナズコースという事で、ある程度は把握していましたが、より深く学ぶ事ができました。パワーグリップとよばれるもので動かす方向、用途によって使い分ける9種類の形をしたコンポジットを歯牙に付け、その上にスプリントを加圧する方法もありました。そうすることにより普通に作るクリアアライナーよりも、効果的に歯牙を動かせるという事も知りました。

そして、二日目はステュックラッド先生によるCAシステムの実際の使い方を聴きました。こちら基本的な製作の仕方から気をつけるポイントなどを聴き、パソコンの使い方も理解出来るようになりました。あと、4種類のプライヤー(CA用)を使い、捻転、傾斜、歯冠、歯根を移動させるための使い方も学ぶことが出来ました。

この二日間で学んだことを仕事に活かしてより良いクリアアライナーを製作して、さらに幅を広げていけたらと思います。



2015年 10月16-17日 営業課 遠藤  
**Straumann 成田ミリングセンター見学会**

10月1日からStraumannプラントの受注開始に伴い、ユーザーの見学会が数回に分けて開催されました。

[10月16日(金) 見学会] 工場内はアバットメントを切削するCAM、インプラントブリッジ(SRBB)、コーピングを削るCAMと分かれています。土・日曜日であっても、全国のユーザーから送信された技工物は、一度ドイツのサーバーを介して、日本のプラントにデータ送信され、自動でCAMが動き出すそうです。受注・製作された製品は全てバーコード管理され、ディスクやパーの管理のほとんどが、オートメーション化されていて、人的ミスを最小限に抑える管理体制となっています。

[10月17日(土) CARES スキャナートレーニング] カスタムアバットメントとインプラントブリッジ(SRBB)のスキャンのポイントと注意点の説明、一連の流れを聴いて終了しました。トレーニングを受けるユーザーの中には、個人で導入されている方もいて将来CAD/CAMシステムが必須になる日も近いのでは?と痛感しました。

今後期待されるデジタルインプレッション、そしてパーシャルフレームワークモジュールなど、DentalWingsでこれから可能になる選択肢は、まだ沢山あります。この様な技工物設計に積極的にチャレンジし、これからの展開にいち早く対応していきたいと思います。



2015年 10月17日 技工部第一課 山下  
**ITI 第2回SC北関東「ジルコニア修復物の現状と将来像」**

10月17日、伴清治先生による「ジルコニア修復物の現状と将来像」と題された講義に参加しました。


ジルコニアの結晶構造からニケイ酸リチウムガラスセラミックス(e.max、松風LDプレス)、最新の透光性の強いジルコニアに至るまでの話を聴くことができました。伴先生のガラスセラミックスからジルコニアにおける長年の研究内容を、強度・圧力・摩耗・着色性・接着性の分野に分けて、わかりやすく説明していただきました。

我々がニケイ酸リチウムガラスセラミックスやジルコニアを、歯科修復物として扱うようになってからまだ10年も経過していません。しかしこの数年で、文献や研究結果から新しい情報や技術が生まれ、改めて見直すことで、より確かで安全な技工物を製作することができます。

今回の講義をきっかけに、ニケイ酸リチウムガラスセラミックスやジルコニアに限らず、すべての技工物をもう一度見直し、知識を深め、技術を磨き、正確で安全な技工物を提供していきたいと思います。



**PICKUP NEWS**



**支台築造用ファイバーポスト ジーシー ファイバーポスト 保険適用に**

10月28日に開催された第309回中医協総会において、株式会社ジーシー社製の「ジーシー ファイバーポスト」が平成28年1月より保険適用されることが決まりました。本製品は、日本におけるファイバーポストの保険適用第1号となります。

この「ジーシー ファイバーポスト」、弊社でも取り扱っております。詳しくは弊社営業スタッフまで。

算定可能は1月からで、次期診療報酬定までは、支台築造(1歯につき)の「その他」の126点、ファイバーポストの材料費として89点になります。間接法で支台築造を行う場合には、支台築造印象26点も算定が可能になります。また、同製品を大臼歯、小臼歯に使用する場合は2本が限度とのことです。2015年11月3日発行 日本歯科新聞 より

**PICKUP GOODS**



**straumann NEW スキャナー CARES D7PLUS 導入キャンペーン**

限定各種 **40本**

チタンカスタムアバットメント 通常価格 ¥25,000 → ¥18,000(税別)  
ジルコニアカスタムアバットメント 通常価格 ¥20,000 → ¥20,000(税別)  
CARES ヴァリオベースアバットメント 通常価格 ¥29,500 → ¥20,000(税別)



SHOFU e.maxと変わらない新しいセラミックス  
**ヴィンテージ LD プレス 提供開始**

特別価格 この機会にお試しください

LDプレス インレー 通常価格 ¥12,000 → **¥7,800**(税別)  
LDプレス クラウン 通常価格 ¥15,000 → **¥9,800**(税別)

**99.9%純金 AGC 「ガルバノシステム」再提案**



**対応症例**  
コーナスクローネ / インプラントの埋入本数の多い症例 / 骨吸収量が大きく、歯肉部の再現が必要な症例 / アクセスホールが唇側に出しまう症例

電鍍法で99.9%純金のキャップを制作する、AGCガルバノシステムを導入しました。コーナスクローネやインプラント上部構造などの内面に0.2-0.3mmの純金キャップを設ける事で維持装置とし、ブラックマージンの改善、生体親和性の向上に寄与しております。「AGC」は1986年から臨床使用が始まっている実績豊富なシステムです。弊社では、最新技術の導入のみならず、旧来の手法についても積極的に見直し、導入を検討しております。